

アプライド・セラピューティクス 投稿規定

(2013年 3月改訂)

1. 投稿者の資格

投稿原稿の筆頭著者は原則として日本アプライド・セラピューティクス学会の会員とする。ただし、国外からの投稿の場合あるいは依頼原稿の場合はこの限りではない。

2. 著作権

本誌に掲載された論文、抄録、記事等の著作権は日本アプライド・セラピューティクス学会に帰属する。

3. 論文の内容

分野は薬物治療に関するもので、研究報告（臨床研究、基礎研究、橋渡しの研究を含む）、情報提供に関わる調査研究、適正使用・医療経済等の研究、調査、解説、症例報告、ノートを含み、既に学術誌等に発表あるいは投稿されていないものに限る。

ヒトを対象とした研究では、世界医師会のヘルシンキ宣言の倫理基準に従い、所属施設等の倫理委員会またはこれに準じるものの承認を必要とする。また、動物実験に関しても、所属施設等の倫理委員会またはこれに準じるものの承認を必要とする。

3-1 具体的な分野の例

- 1) 予防や治療に用いられる医薬品、補助的非薬物治療（サプリメント等）の有効性、安全性に関する評価、解析
- 2) 予防や治療に用いられる医薬品、補助的非薬物治療の患者アウトカム、医療経済上のアウトカムに関する評価、解析
- 3) 科学的で合理的なエビデンスに基づく薬物治療、補助的非薬物治療の遂行上の課題の検討
- 4) 科学的で合理的なエビデンスに基づく薬物治療、補助的非薬物治療の確立のための取り組み上の成果・課題の検討
- 5) 科学的で合理的なエビデンスに基づく薬物治療、補助的非薬物治療の確立のための医学教育、薬学教育に関する課題の検討
- 6) 薬物治療ガイドラインの作成
- 7) 薬物治療を担う医療関係者の育成
- 8) 中立で公正な医薬品情報を提供するためのネットワークの確立

3-2 類別

本誌は主として、一般論文、ノート、資料、総説、ミニレビュー、寄稿を受け付ける。

3-3 用語

和文または英文とする。

3-4 長さ

- ・ 一般論文（原則として、独創的研究により得られた薬物治療に関する新知見を含むものであることを必要とする）刷り上り 6 頁以内（1900 字× 6 枚=11400 字）とする。A4 判、横書き（40 字× 40 行）を 1 枚とし、原則として本文は 7 枚以内（図表類含む）。
- ・ ノート（原則として、断片的な研究であっても新知見や価値あるデータ、症例報告などを含むものとする）刷り上り 4 頁以内（1900 字× 4 枚=7600 字）とする。A4 判、横書き（40 字× 40 行）を 1 枚とし、原則として本文は 5 枚以内（図表類含む）。
- ・ 資料（必ずしも新知見だけではないが、価値あるデータなどを含むものとする）
- ・ 総説（著者の研究実績に基づき、その関連領域の研究等をまとめ評したものとする）長さは特に規定しない。
- ・ ミニレビュー（総説に準じ、依頼原稿などを含める）長さは特に規定しない。
- ・ 寄稿（トピック的話題の依頼原稿など）長さは特に規定しない。

3-5 書式

原稿の 1 枚目に、表題、著者名（ローマ字綴りも記載）、所属機関名とその所在地（所在地は筆頭著者のみ）、連絡用 E メールアドレス、別刷請求先、校正の送り先を記す。

2 枚目には、300words 以内の英文サマリー（和訳文を添付する）と 5 個以内の key word（日本語を添付）を記す。

本文は改めて 3 枚目から始める。

図・表・写真は、それぞれ Fig., Table, Photo. と記し、複数の場合は通しナンバーを付す。

必ず標題を付け、本文とは別に一括して綴じる。原則として著者の作成した原図をそのまま掲載する。

図表類の引用箇所は本文中あるいは欄外に明記する。

・ 単位

単位は、第 15 改正日本薬局方（2007 年）に基づく国際単位系（SI）を用いる。

・ 引用文献

本文該当部の右肩に引用順に番号を片カッコで記し、本文最後の文献の項に整理して記す。

・ 引用文献の記載方法

雑誌の場合は、①著者名、②論文題名、③雑誌名、④発行年、⑤巻数、⑥頁数の順に記す。欧文雑誌名はイタリック体とする。

単行本の場合は、①著者名、②書名、③版数および巻数、④編集者名、⑤発行地、⑥出版社、⑦発行年、⑧頁数の順に記す。

〈引用例〉

- 1) Galia E, Horton J, and Dressman JB. Albendazole generics : A comparative in vitro study. Pharm, Res. 1999 ; 16 : 1871-5.

4. 利益相反(Conflict of Interest: COI)の記載

投稿論文の著者全員は、当該論文が関わる COI 状態について本学会の「利益相反規則」に従い、所定の書式(様式 2)*により、掲載前に学会事務局へ届け出なければならない。また、著者は同内容を論文末尾、謝辞または引用文献の前に記載する。開示すべき COI 状態がない場合にも、その旨を同部分に記載する。

*：所定の書式については学会ホームページを参照のこと。

(試行期間中はホームページの利益相反ページ利益相反附則を参照下さい)

5. 投稿手続き

原稿 3 部 (正 1 部、副 2 部) (写真を含むものは正 3 部) およびテキスト形式のデータ (FD、CD-R 等) を下記に送付する。正の図は鮮明な原図または写真とする。図表も可能であればデータとして保存したものを提出することが望まれる。また機種名、ソフト名を記入したメールによる投稿も可能。ただし、電子ファイルが読めない場合は、原稿を郵送する。

<送付先>

〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町 8-8-402

有限会社 M. I. R. A. I. MUGEN

日本アプライド・セラピューティクス学会

「アプライド・セラピューティクス」編集委員会

TEL : 050 - 3736 - 8459 / 090 - 2739 - 5173

FAX : 020 - 4662 - 2773

メールアドレス : applied-therapeutics@mirai-mugen.co.jp

6. 論文審査と採否

投稿された原稿 (一般論文、ノート、総説) は審査員 2 名による査読の上、掲載の採否を決定する。審査によって返却され、再提出を求められた原稿は、返送日の 1 ヶ月以内に再提出すること。1 ヶ月を経過して再提出された場合は、新規投稿として扱われる。掲載にあたっては原稿の一部修正を求められることがある。掲載は投稿受付順を原則とするが、審査・編集上の都合によって前後することがある。

7. 論文掲載料

投稿者は、論文受理の決定後に、別に定める料金 (消費税は別) を請求に応じて支払うこと。

8. 別刷り

別に定める料金 (消費税は別) を請求に応じて支払うこと。

9. その他

- ・ 著者校正は 1 回行うこととする、誤植以外の追加・修正は原則として認められない。
- ・ 学会依頼の特別論文等に関しては、その取扱いは別途取り決める。